

発効日/平成23年10月1日
 発行者/江別市生涯学習推進協議会
 編集/広報委員会
 連絡先/江別市教育委員会生涯学習課
 067-0074 高砂町24-6
 電話 381-1062
 FAX 382-3434
 HPアドレス <http://www.e-lalala.org/>



「現代教育の現状と課題」

今後の学校教育の在り方として、学校と社会が連携する形から、さらに進化した「学社融合論」についての話がされた。

学校教育が画一性や閉鎖性から脱け出せずにいる現状、それを打破するために、地域が資源を生かして学校や子どもを育てていく意義。学校を地域コミュニティの場として広く開放する必要性など、学校教育の進むべき方向に頷かされるばかりであった。

空論ではなく、出来る事から始めなくては意味がないと強く感じた。

生涯学習リレー講座(1)に参加して 鈴木 紀子



江別演劇鑑賞会

江別演劇鑑賞会は、江別で魅力ある芝居を観続けたいという、一九八八年に設立された、会員制の演劇を観る会です。これまで観てきた演劇公演は一一八本を数え、ジャンルは新劇・狂言・歌舞伎・ミュージカルと様々で、会員は年5本、生の舞台を楽しんでいます。



10月「アパッチ砦の攻防」

江別演劇鑑賞会の魅力は、観るだけでなく、会員が自分たちの手で運営していることです。公演日の約二ヶ月前から集まり、公演の準備や、成功に向けて話し合います。公演の当日は、大道具の搬入や搬出、受付など全て会員が行っています。劇団との交流も演劇鑑賞会の特徴で、出演者の皆さんとの触れ合いを通して江別で生の舞台を観る喜び一層を感じています。



12月「海霧」

劇に触れてもらおうと、毎年青少年例会を開催しています。主に高校生の皆さんを一年に一度、無料招待して、本格的な舞台を鑑賞する機会を設けています。これまで市内の高校の演劇部の皆さんも参加し、プロの舞台監督さんから指導を受けるなど、普段出来ない体験もされました。江別演劇鑑賞会は来年、創立から二十四年目を迎えます。文化活動を続けるには、厳しい時代ですが、これからも心の豊かさを求めて、素敵な舞台を鑑賞し続けていきます。入会はいつでも可能です。私たちと楽しくお芝居を観ませんか？

- ◇これからの上演作品◇
- 10月10日
東京ツォードヴィルショー
三谷幸喜作「アパッチ砦の攻防」
出演・佐藤B作・角野卓造ほか
- 12月8日 劇団民藝
原田康子原作 「海霧」
出演・樺山文枝・伊藤孝雄ほか
- 2月23日
音楽座ミュージカル
出演・高野奈々、安中淳也ほか

生涯学習リレー講座(2)を受講して

古野 幸子

「乳幼児が初めて出会う本が絵本」

昨年11月に初孫が誕生しました。それを期に子育て時代を懐かしく思い出していたので、今回の講座に参加してみました。

日本では平安時代の「源氏物語絵巻」から始まり、明治時代には葉屋さんが子ども向けの小さな絵本をおまけとして配ったことや、外国では「世界図絵」という本が、人間としての基本的な道理をきちんと学べるように作

られたことを知りました。絵本の中には、大人から子どもに伝えたい様々な思いが込められているのです。

特に印象的だったのは①絵本との出会いは生活に彩りを与える②初めての出会いは何歳でも！ということ、うなずいて聞いてしまいました。我家の子どもたちは、図書館が近かったおかげで小さい時からたくさんのお絵本の出会いがありました。読み聞かせの時は、私にとってもゆったりと、心がほっこりする

時間でもありません。

後半の読み聞かせも心地良く耳に残っています。ありがとうございました。



市内 匿名希望

「子ども」

学校生活の現在

9月2日(金)蒸し暑い夜、大麻公民館にて行なわれた講座では、講師である札幌学院大学教授の市川啓子先生の豊富なカウンセラー体験に裏打ちされた具体的な事例とその深層にある現代社会のヤミのような暗い部分を非常に興味深く学ぶことができた。

何よりも「やはり」、他者との

かわりをとることのできない社会(大人も子供も)の広がりがない未来を暗示するかのような家族関係の稀薄さ、人としての倫理観の不伝達な社会、「いじめ」・「不登校」の大きな要因はもうそこに見えかくれている。学校現場は培養現場であって根本的な問題はむしろ家庭、社会環境に起因しているのではないか? 解決しえない問題ではない筈で、もどかしい思いは今回も心に沈静したのだった。



江別モラロジー事務所

◆モラロジー生涯学習セミナー

平和で安心の持てる家庭を作る為のセミナーで、過去50年に渡って江別に開催してまいりました。文部科学省・北海道教育委員会・江別教育委員会様からご後援を頂き、また江別市教育委員会様には例年ご祝辞を賜りこの場をお借りしお礼申し上げます。例年6月に開催しておりますので次期開催は来年と成りますが、皆様のより良い生活環境づくりの一助になることを願います。

「こんにちは！」 札幌学院大学(心理臨床センター)

札幌学院大学心理臨床センターは、一般の方々が心の悩みを相談する、地域に開かれた機関です。電話で申し込み(月～土曜日10時～16時)、予約した上で、相談に来ていただけます。小さなお子さんとは遊びをとあして、中・高校生やその親御さん、あるいは、大人の方の様々な問題についてお話をうかがい、年間500件以上の面談を行なっています。昨年、開設15周年を記念し、市民講座「こころの健康」を開催いたしました。本年度は第2回市民講座として「こころの育ち」というサブテーマで、本学の市川啓子(臨床心理士

／札幌市こどもの権利救済委員代表)、村澤和多里(臨床心理士)、そして安岡譽(精神科医・臨床心理士)が、それぞれ児童期、青年期、中高年期のこころについて語ります。こころの健康に関心のある、地域の皆様のご参加をお待ちしております。

開設15周年記念市民講座

こころの健康～こころの育ち～

日時／2011年10月16日(日)

13:00～16:00

場所／野幌公民館ホール

参加費／無料

問い合わせとお申し込み

FAX 011-386-9794 または

kokoro-j@sgu.ac.jp

えべつイベント

●江別市子ども会育成連絡協議会

◎11月3日(木)
小学生ドッジボール大会
市民体育館
小学生による地域対抗ドッジボール大会
◎12月4日(日)
小中学生かるた大会
市民体育館
小中学生による地域対抗かるた大会

●江別市青少年のための市民会議

◎11月23日(水)
江別市青少年のための市民会議30周年記念特別講演
野幌公民館
講師を招き、30周年と江別市貢献賞特別ほう賞受賞を記念しての講演会

●劇団「川」

◎11月未定
劇団「川」第53回定期公演
アトスペース外輪船
演劇 自主公演

●北陽美術協会

◎12月7日(水)～12月11日(日)
歳末チャリティー小品展
野幌公民館

●江別市菊友会

◎11月1日(火)～3日(木)
第61回江別市菊友会菊花展
江別市コミュニティセンター
菊友会員及び市民が栽培育成した大菊、小菊の菊鉢200鉢を展示する。

●江別演劇鑑賞会

◎10月10日(日) 開演18時30分
東京ヴォードヴィルショー「アパッチ砦の攻防」
出演/佐藤B作・角野宅造他

江別市民会館大ホール
娘の婚約者に会うためにもと住んでいたマンションに入りこむ男。そこへ現・住人が帰ってきて大騒動!三谷幸喜作の爆笑コメディ!
◎12月8日(木)開演18時30分
劇団民藝「海霧」 原作/原田康子 出演/榎山文枝・伊藤孝雄他
江別市民会館大ホール
明治維新の直後。新天地の釧路に渡り、店を開いた幸吉とさよ。店は成功するが…。明治・大正・昭和へと激動の時代を生きた人々を描く。

●(財)江別市スポーツ振興財団

◎10月10日(月・祝)9時～13時
第26回市民グリーンボール大会
飛鳥山公園グリーンボール場特設コース
9月12日～20日申込受付。
参加料:高校生以上600円、小中学生300円。
定員60名。事前講習会10月9日。
◎11月3日(木・祝)9時～14時
小学生ドッジボール大会
市民体育館
10月1日～15日申込受付。参加料無料。市内在学の小学3～6年生が対象。男女混合戦。
主管:子ども会育成連絡協議会
◎11月12日(土)10時～12時
深川友貴からサッカーを学ぼう～めざせ!サムライブルー～なでしこジャパン～
市民体育館
前売券 子ども200円、大人500円
喜瀬ひろし氏の講演「声は人なり」も同時開催
◎12月23日(金・祝)9時30分～13時
クロスカントリースキー・歩くスキー講習会
飛鳥山公園多目的広場
12月2日～14日申込受付。受講料800円。
定員50名。無料レンタルスキー有り。

●3B体操江別サークル

◎10月8日(土)12時30分～16時
(社)日本3B体操協会創立40周年記念北海道大会

札幌市生涯学習センター「ちえりあ」ホール
会員500名による体操発表会(全24チーム)

●家庭問題研究会

にこにこ相談十周年記念公開講座のご案内
◎10月15日(土)10時～12時
にこにこ相談は地域に根差した相談室として、家庭問題研究会より誕生しました。
当初、大麻の児童幼稚園の一室からスタートし、その後、社会福祉センターに相談室を移して、十年経ちました。
只今は毎水曜日10時から15時まで、面接、電話を通して生きていく中で出会う様々な悩みや心配ごとに寄り添い、お聴きして相談者と共に、より良い道を探しあっております。
今回、10周年を記念して左記の要領で公開講座を開催いたします。皆様のご受講をお待ちしております。当日参加も可能です。
「楽しい会話していますか?」
～こころとこころをつなぐコーチング～
講師 山谷 敬三郎氏
場所 大麻公民館 研修室2号
参加費 無料 申し込み 10月4日から

●おはなしなにあ

◎10月21日(金)10時30分～11時30分
ちびっことしよまつり
大麻公民館2F研修室2号
◎12月23日(日)10時30分～11時30分
X'masおたのしみ会
大麻公民館2F研修室2号

●江別消費者協会

◎10月27日(木)10時～12時
「江別消費者大会」
野幌公民館ホール
弁護士 道尻豊氏の基調講演
「高齢者の消費者被害～最近の手口を知ろう～」

野幌駅鉄道高架開業記念ウィーク 平成23年10月23日～10月29日

◆第1弾10月23日

会場/JR野幌駅高架下特設会場
時間/11時～15時30分
第一部 吹奏楽演奏
江別第二中学校・野幌中学校・中央中学校
第二部
①基調講演
小篠隆生氏(北海道大学大学院工学研究院准教授)
②公開討論
シンポジスト
○阿部実氏(野幌地区自治会連絡協議会会長)
○高橋俊夫氏(野幌商店街振興組合副理事長・まちづくりコンサルタントK-ITABA)
○白鳥健志氏(NPO法人えべつ協働ねっとわーく理事長)

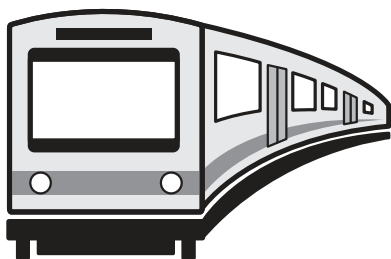
江別の加工品の販売
カーシェアリングPRセラモニー

◆第2弾10月29日

ハッピーハロウィンフェスティバル
会場/野幌商店街(八丁目通り)から新野幌駅
時間/10時～14時
13時～仮装コンテスト
江別第二中学校・合唱
野幌若葉小学校「みんなでおどり隊」が参加してくれます
会場/JA野幌店の駐車場

10月24日～29日
野幌商店街振興組合、野幌料飲店組合によるセールキャンペーン

コーディネーター
○小篠隆生氏
他、江別第二中学校・野幌中学校・中央中学校の美術部による合同の絵の発表
・屋台村 江別産にこだわった飲食。EBEERグランプリに参加した江別高校・とわの森三愛高校(参加予定)など



2011 江別市四大学連携まちづくり市民大学

ふるさと江別塾

江別の4大学と共同で開講

先生方がそれぞれの立場から、身近な問題について講義します。受講ご希望の方はお気軽にお申し込み下さい。

**定員
100名**

**受講料
無料**



| | |
|--|---|
| <p>第1回 北海道情報大学 10月22日(土) 会場:講義室115教室</p> <p>開講式 9:15~9:30 講義1 9:30~11:00 「医療情報の今と 医療クラウドコンピューティングの未来」 医療情報学専攻教授 上杉 正人 講義2 11:10~12:40 「災害と心理支援」 医療情報学専攻教授 藤本 信比古</p> <p>第2回 酪農学園大学 10月29日(土) 会場:C1号館2階202教室(旧中央講義棟C21番教室)</p> <p>講義1 9:30~11:00 「環境に配慮したリサイクル技術」 農食環境学専攻教授 藤澤 信雄 講義2 11:10~12:40 「One Health ワンヘルス(一つの健康)」 獣医学専攻教授 藤田 俊平</p> | <p>第3回 札幌学院大学 11月5日(土) 会場:B101教室</p> <p>講義1 9:30~11:00 「高齢者の積極的な健康づくりと 地域社会について」 経営学部准教授 北田 雅子 講義2 11:10~12:40 「DIYのまちづくり」 社会情報学部教授 石井 聡平</p> <p>第4回 北翔大学・北翔大学短期大学部 11月12日(土) 会場:B44教室</p> <p>講義1 9:30~11:00 「音楽療法を学ぶ～音・音楽の活用～」 短大大学部こども学科准教授 藤田 俊子 講義2 11:10~12:40 「音楽療法の体験～音・音楽の楽しい表現～」 短大大学部こども学科准教授 藤田 俊子 開講式 12:40~13:00</p> |
|--|---|

申込み / 江別市教育委員会生涯学習課 (江別市高砂町 24-6) **TEL 381-1062 FAX 382-3434**

主 催 江別市教育委員会

「秋の自然観察会」

日時／10月15日(土)
午前8時50分集合

会場／野幌森林公園(集合場所：大沢口)

定員／40名(定員になり次第、締め切らせていただきます。)

受講料／無料

主催／江別市生涯学習推進協議会

その他／当日は、現地集合、現地解散となります。

申込期間／10月12日まで

●申込み問い合わせ先
江別市教育委員会生涯学習課
江別市高砂町24-6

TEL 381-1062
FAX 382-3434

★ミニ手話★



あ り が と ろ

去る、7月9・10日に第22回えべつやきもの市が行われました。心配された天候にも恵まれ、沢山の人で連日にぎわいました。中でも2011個のレンガを倒す「れんがドミノ」は、観衆のまこととなりました。また、新企画として「ほっけ皿コンテスト」では、ほっけをのせて食べたい、「とっておきの一枚」をミニチュアレンガチップで投票し、選ばれた上位3作品はセラミックアートセンターのロビーに1年間展示されるそうです。東日本大震災被災地へ収益金を送る「チャリティー販売会」も開催され、用意された500点すべて完売されました。



「第22回えべつやきもの市」レポート

会場では毎年訪れる常連さんが「これは今年の新作?」などと作家さんに声をかけたりして、会話が弾んでいました。今年もお気に入りの1点をかかえ別れを惜しみながら、2日間の熱気溢れるイベントは終了しました。

(担当) 西懸



《あとかぎ》
いよいよ我々の念願だったJR高架新駅舎が10月23日に開駅を向かえます。今まで不便をかけたが新駅舎にはエスカレーター、エレベーターが付き駅の利用が楽になります。

又、10月23日・10月29日のイベントは地元の小中学生・高校生・大学生の協力で開かれます。ぜひみな様も新駅舎のお祝いに来て下さい。

梶野雅裕